



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月13日

上場会社名 株式会社CKサンエツ  
コード番号 5757 URL <https://www.cksanetu.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 釣谷 宏行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 松井 大輔

TEL 0766-28-0025

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	94,873	11.5	6,183	24.5	7,793	30.8	4,810	33.4
2022年3月期第3四半期	85,084	83.7	8,192	197.7	5,960		3,605	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 5,423百万円 (35.3%) 2022年3月期第3四半期 4,007百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	583.29	
2022年3月期第3四半期	431.97	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	83,283	48,444	51.3	5,178.60
2022年3月期	71,099	43,893	54.2	4,649.01

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 42,713百万円 2022年3月期 38,523百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		30.00		40.00	70.00
2023年3月期		30.00			
2023年3月期(予想)				40.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	126,000	9.2	6,500	39.7	9,300	41.5	6,000	39.1	727.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	8,867,000 株	2022年3月期	8,867,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	618,859 株	2022年3月期	580,521 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	8,246,770 株	2022年3月期3Q	8,347,465 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的に金融引き締めが進む中で日本銀行が金融緩和を継続したため、内外金利差により外国為替市場で円安が進行し、10月には1ドル150円を付けました。中国ではゼロコロナ政策を転換したため全土で感染が急拡大しました。海外からの部品の調達難と半導体不足が長期化し、自動車をはじめとする様々な業界で生産活動が制約されました。また、ウクライナ戦争が長期化して電力・エネルギー価格が高騰したため、国内企業物価は10%上昇し、消費者物価も4%上昇しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、銅相場が前年同期と比較して高い水準だったため、売上高は948億73百万円（前年同期比11.5%増加）となり、営業利益は61億83百万円（同24.5%減少）となりました。営業外損益として、デリバティブ利益が3億16百万円、デリバティブ評価益が10億47百万円発生したため、経常利益は77億93百万円（同30.8%増加）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は48億10百万円（同33.4%増加）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### 伸銅

伸銅事業では、販売量は8万939トン（前年同期比4.2%減少）、売上高は818億21百万円（同10.6%増加）となり、セグメント損益は43億12百万円のセグメント利益（同35.4%減少）となりました。

#### 精密部品

精密部品事業では、売上高は45億86百万円（前年同期比22.0%増加）となり、セグメント損益は4億60百万円のセグメント利益（同52.6%増加）となりました。

#### 配管・鍍金

配管・鍍金事業では、売上高は84億66百万円（前年同期比15.0%増加）となり、セグメント損益は11億67百万円のセグメント利益（同20.5%増加）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は622億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ129億8百万円増加しました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が9億50百万円、電子記録債権が81億36百万円、棚卸資産が27億16百万円増加したことによるものであります。固定資産は210億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億25百万円減少しました。この結果、資産合計は832億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ121億83百万円増加しました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は312億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ65億53百万円増加しました。これは主に、短期借入金が97億円増加したことによるものであります。固定負債は35億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億78百万円増加しました。この結果、負債合計は348億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ76億32百万円増加しました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は484億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ45億51百万円増加しました。これは主に、期末配当3億46百万円、中間配当2億58百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益が48億10百万円であったことによるものであります。この結果、自己資本比率は51.3%（前連結会計年度末は54.2%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年8月12日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	679	1,272
受取手形、売掛金及び契約資産	19,003	19,953
電子記録債権	5,772	13,908
商品及び製品	7,282	7,523
仕掛品	7,792	8,767
原材料及び貯蔵品	7,312	8,811
その他	1,560	2,090
貸倒引当金	△91	△108
流動資産合計	49,310	62,219
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,532	13,700
減価償却累計額	△6,188	△6,525
建物及び構築物 (純額)	7,344	7,175
機械装置及び運搬具	25,448	25,991
減価償却累計額	△21,864	△22,819
機械装置及び運搬具 (純額)	3,584	3,172
土地	7,020	7,020
建設仮勘定	173	184
その他	2,381	2,599
減価償却累計額	△2,036	△2,192
その他 (純額)	345	407
有形固定資産合計	18,467	17,960
無形固定資産		
のれん	164	94
ソフトウェア	329	365
ソフトウェア仮勘定	44	—
その他	67	12
無形固定資産合計	606	472
投資その他の資産		
投資有価証券	1,351	1,309
退職給付に係る資産	14	14
繰延税金資産	1,260	1,236
その他	90	72
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,715	2,631
固定資産合計	21,788	21,063
資産合計	71,099	83,283

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,424	8,885
短期借入金	8,440	18,140
未払金	280	88
未払費用	1,080	962
未払法人税等	1,340	1,714
賞与引当金	1,050	444
設備関係支払手形	1,280	232
その他	1,798	781
流動負債合計	24,695	31,248
固定負債		
長期借入金	—	907
繰延税金負債	319	328
再評価に係る繰延税金負債	280	280
退職給付に係る負債	1,586	1,684
その他	323	387
固定負債合計	2,510	3,589
負債合計	27,205	34,838
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,756	2,756
資本剰余金	4,507	4,689
利益剰余金	32,148	36,355
自己株式	△1,367	△1,627
株主資本合計	38,046	42,174
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△56	△52
土地再評価差額金	565	565
為替換算調整勘定	△8	32
退職給付に係る調整累計額	△22	△5
その他の包括利益累計額合計	477	539
非支配株主持分	5,369	5,731
純資産合計	43,893	48,444
負債純資産合計	71,099	83,283

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	85,084	94,873
売上原価	73,314	84,975
売上総利益	11,769	9,898
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	994	967
給料及び手当	851	873
退職給付費用	22	25
貸倒引当金繰入額	26	6
その他	1,683	1,842
販売費及び一般管理費合計	3,577	3,714
営業利益	8,192	6,183
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	26	33
デリバティブ利益	0	316
デリバティブ評価益	0	1,047
業務受託料	36	36
雇用調整助成金	1	—
その他	174	271
営業外収益合計	244	1,709
営業外費用		
支払利息	15	17
為替差損	0	—
デリバティブ損失	751	9
デリバティブ評価損	1,685	48
クレーム補償費	7	6
その他	16	17
営業外費用合計	2,476	99
経常利益	5,960	7,793
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	0
補助金収入	5	6
特別利益合計	5	6
特別損失		
固定資産除却損	15	1
特別損失合計	15	1
税金等調整前四半期純利益	5,950	7,798
法人税等	1,855	2,448
四半期純利益	4,094	5,349
非支配株主に帰属する四半期純利益	489	539
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,605	4,810

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	4,094	5,349
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105	16
為替換算調整勘定	17	41
退職給付に係る調整額	△0	16
その他の包括利益合計	△87	73
四半期包括利益	4,007	5,423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,534	4,872
非支配株主に係る四半期包括利益	473	551



（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

前連結会計年度末において非連結子会社でありました株式会社サンエツ商事は重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

前事業年度の有価証券報告書（重要な会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	73,960	3,758	7,362	85,081
その他の収益	2	—	—	2
外部顧客への売上高	73,962	3,758	7,362	85,084
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,302	54	6	4,363
計	78,265	3,812	7,369	89,447
セグメント利益	6,673	302	968	7,944

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,944
セグメント間取引消去	618
全社費用	△370
四半期連結損益計算書の営業利益	8,192

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	81,819	4,586	8,466	94,871
その他の収益	2	—	—	2
外部顧客への売上高	81,821	4,586	8,466	94,873
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,397	61	5	5,464
計	87,218	4,648	8,471	100,338
セグメント利益	4,312	460	1,167	5,941

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,941
セグメント間取引消去	638
全社費用	△396
四半期連結損益計算書の営業利益	6,183

（重要な後発事象）

該当事項はありません。